



# 「食べたい」 を直ぐに

特別養護老人ホーム清光園  
管理栄養士 浦川智美

さてこれは  
何でしょうか？

フキ！



# 毎年の恒例行事



# A様

- 年齢80歳（入居当時）
- 要介護4
- 既往歴

2009年パーキンソン病

アルツハイマー型認知症

2013年進行性核上性麻痺

2017年脳挫傷

腰椎圧迫骨折

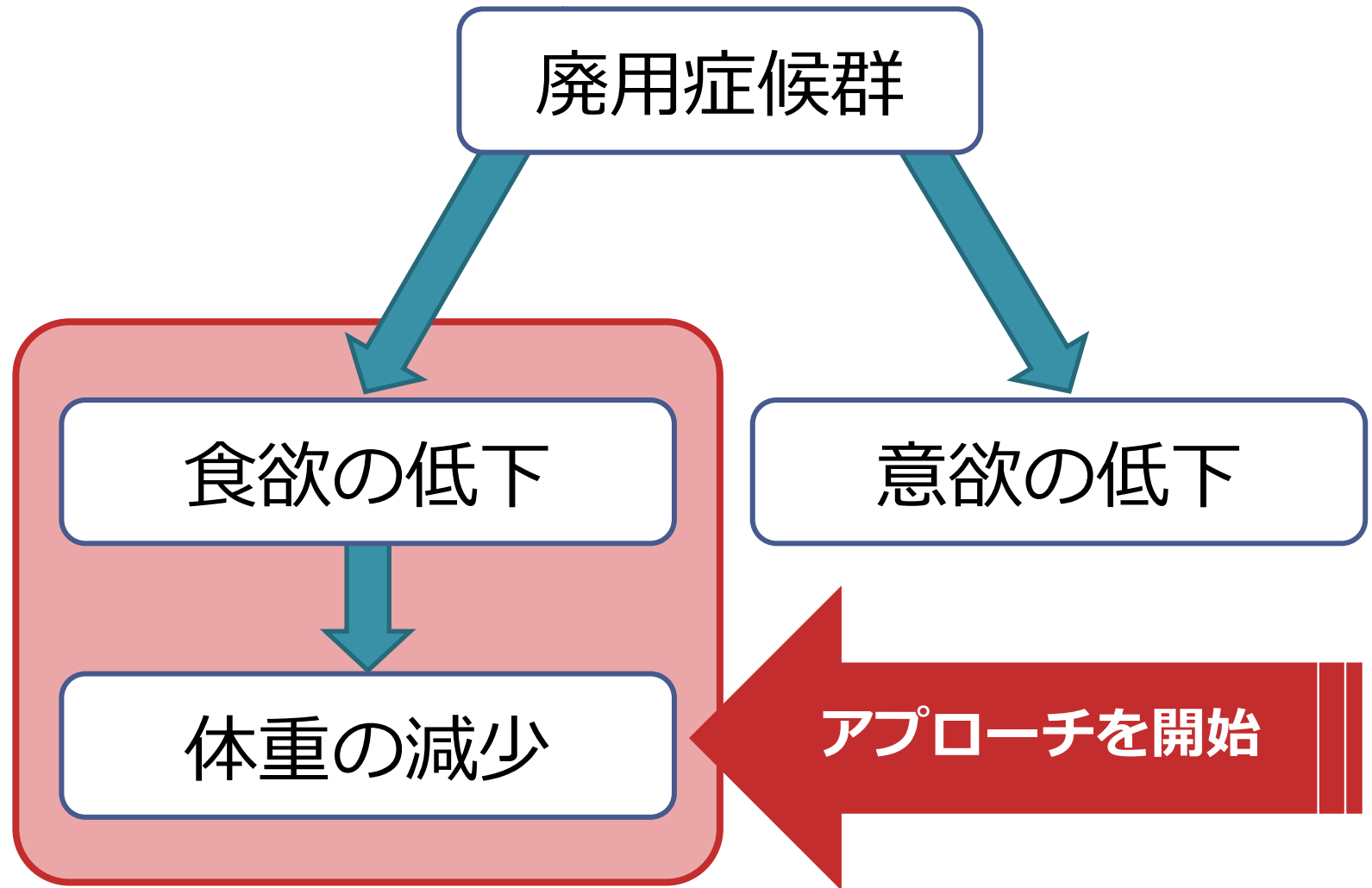
廃用症候群

# 2017年9月【入居】

- 食事形態は米飯・きざみ食
  - 栄養剤1本/日（375kcal）
  - 家族の面会1～2回/週あり
- 差入れあるが、あまり食べられず



# 課題



# 2018年1月【食事形態変更】

差し入れは形のまま食べられている

形態を変更すれば摂取量は増加するか

娘様を交えて多職種で検討

副食をきざみ食から常食へ

# 2018年2月3月 【嗜好の把握】

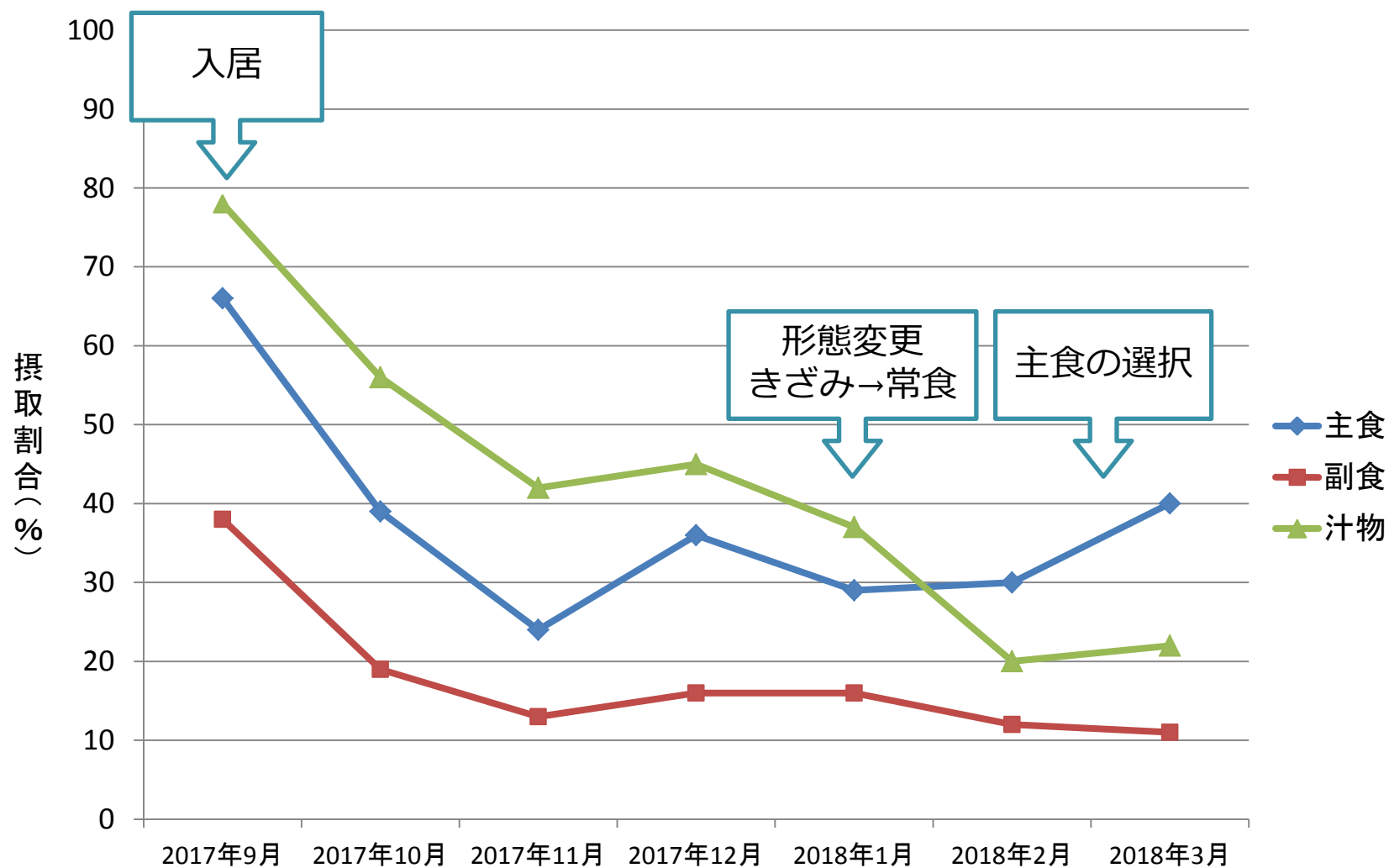
麺とパンの日は食事が進む

嗜好把握のため、主食を選択して頂く

うどん・素麺・ラーメン・パンが好み

その日の体調や気分に合わせて提供

# 食事摂取量の推移



# 2018年4月 【担当者会議】

- これまでの摂取状況を説明
- 摂取量増加に繋がる食事ケアを検討
- 「娘手作りのラーメンが食べたい」  
「出かけたい」 思いから娘様自宅へ外出

## 娘様の言葉

**家で鍋いっぱいにもツ煮たり、  
煮物を作ったり、私達が食べさせて  
貰っていたくらいだったんです**

# 2018年5月 【外出】

娘様の自宅へ外出

ビール...

お刺身...

オードブル...

そして

手作りラーメン！



# 2018年5月【フキ】

外の景色が見渡せる廊下の端に佇むA様

**「あそこに生えてるのはフキかい？」**

「そうですね、あの辺りに生えてますね」

**「もうそろそろ食べれそうだね」**

「目が良いですね。良く見えますね。」



「あーフキ食べたいねー」

# 2018年6月【フキとおにぎり】



# 2018年8月 【担当者会議】

- フキの煮物を一緒に作ったことや摂取量が増加してきたことを説明
- 摂取量が維持できるように、家族の協力も得ながら食事ケアを継続していく

A様の言葉

**娘と出掛けるのが楽しみだね**

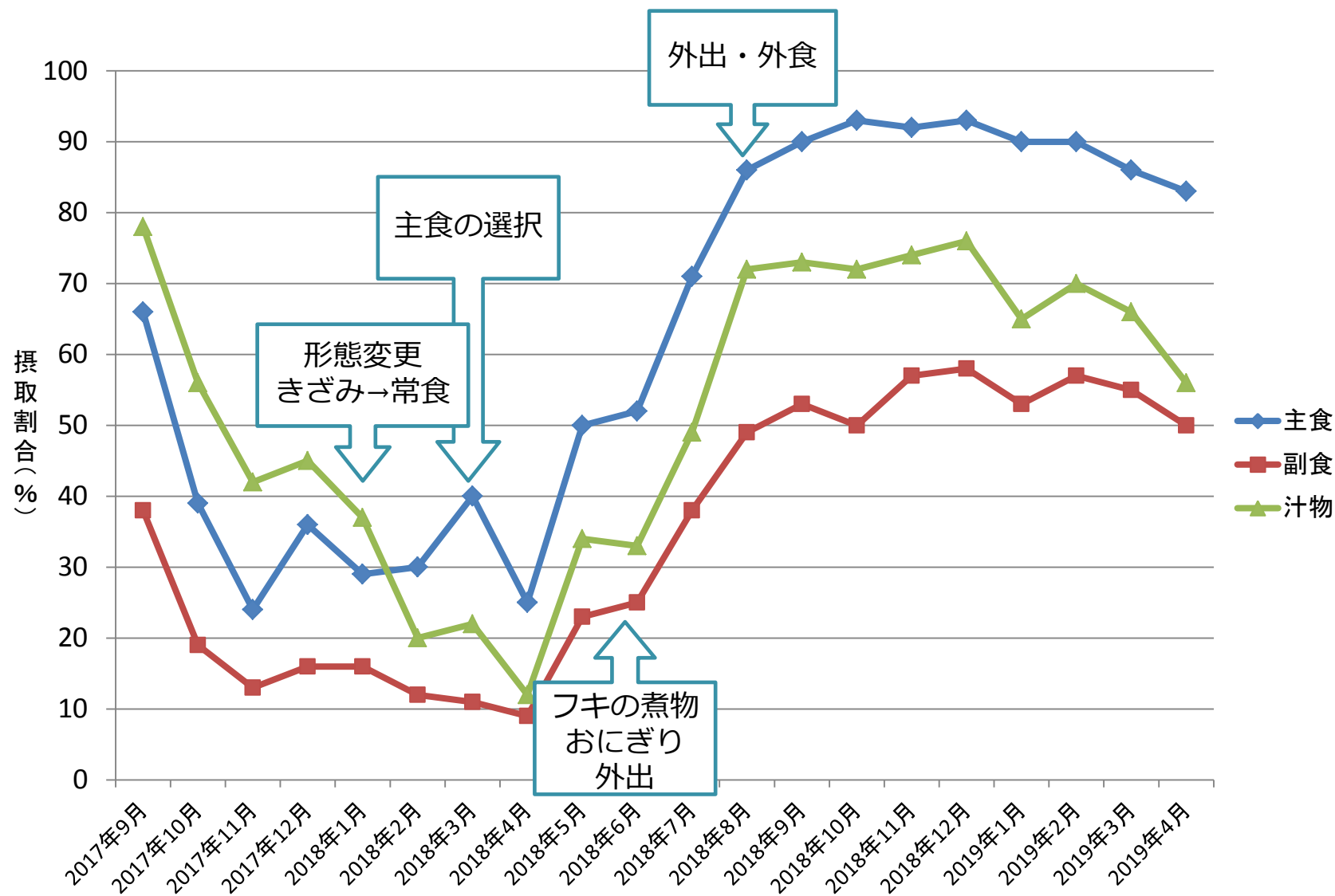
# 2018年8月～10月



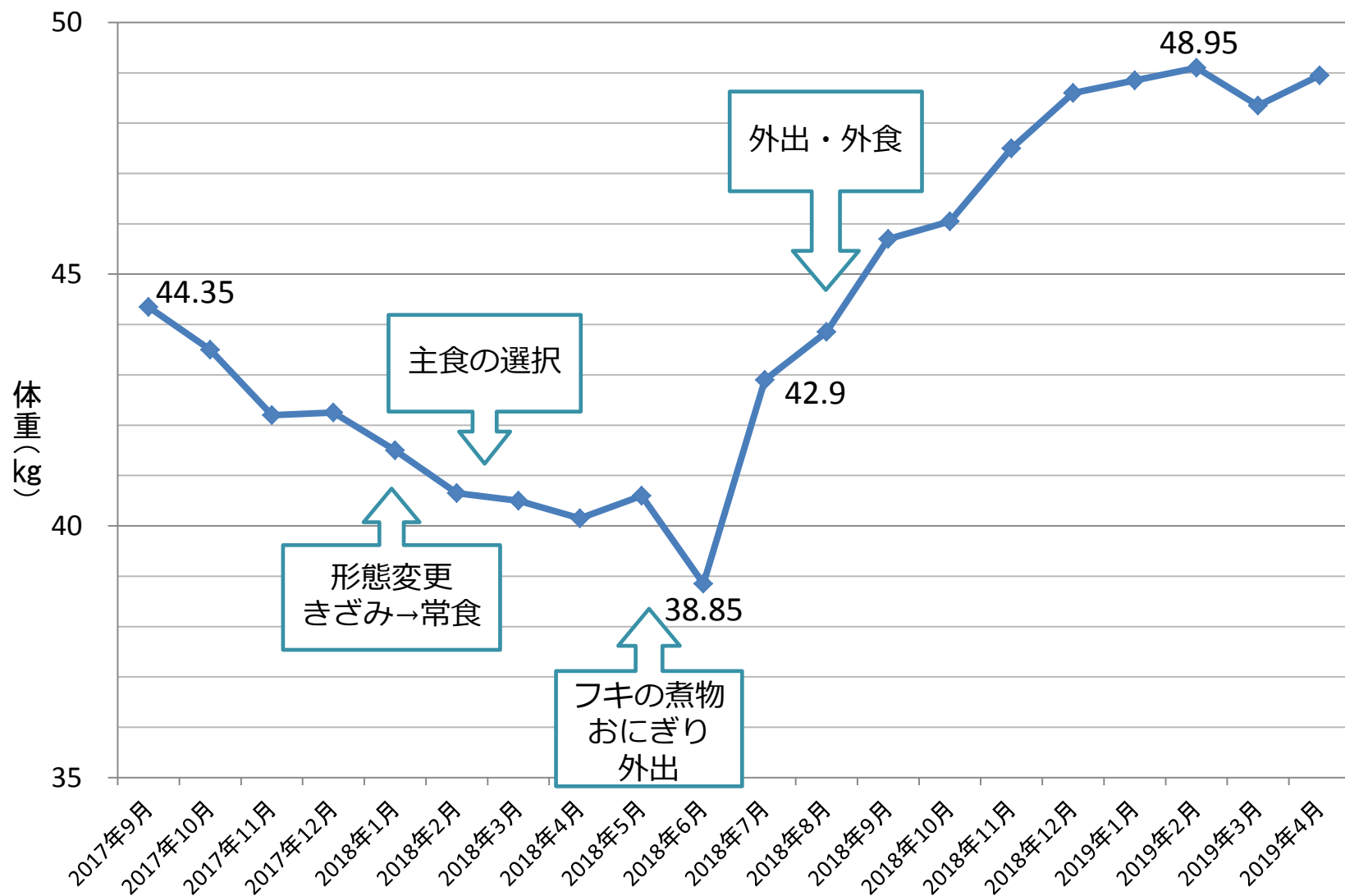
# 評価

- 食事形態をきざみ食から常食へ変更したが、摂取量の増加に繋がらなかった
- 好みである麺類やパン類を意向に合わせて提供したが、食事量全体の増加には繋がらなかった
- 「フキが食べたい」想いを直ぐに実行に移した結果食事量が増加した
- 家族の協力を得て外出する機会を増やした結果意欲の向上した

# 食事摂取量の推移



# 体重の推移



# 学んだこと

パーキンソン病・進行性核状性麻痺

身体機能・嚥下機能の低下

A様らしい生活をするためには？

A様からの継続した情報収集と蓄積  
携わる人々（職員・家族）との共有

「もっと家族と過ごしたい」

「料理作って、一杯やりたい」

「もっと出掛けたい」

想いはまだまだある...

『**住み慣れた家で暮らしたい**』



良いフキだね



よく『カマおばさん』  
て言われてたんだ！



ご清聴ありがとうございました

